



平成21年11月号



概況

最近の県内経済は、生産面や個人消費の一部に上向きの動きがみられるものの、全体に厳しい状況が続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は、14ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、届出車がマイナスとなったものの、登録車はプラスとなり、全体では2ヶ月連続のプラスとなった。

住宅建設は、貸家、分譲住宅が増加したものの、持家、給与住宅は減少し、6ヶ月連続のマイナスとなった。公共投資は、国、県、市町村の工事が増加し、4ヶ月連続のプラスとなった。

生産関連の動きをみると、在庫調整の進捗や新興国向け需要の回復などから、電気機械、電子部品・デバイスで生産が増加している。一次産業関連では、21年産水稻の県平均作柄は、作況指数「101」と見込まれている。21年県産リンゴ販売は県外出荷量、県外市場販売額ともに増加したものの、消費地市場価格は下回った。八戸港水揚げは数量が増加したものの、金額は減少した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比横バイの0.29倍となり、依然として厳しい状況が続いている。

個人消費

9月の**大型小売店販売額**は、前年同月比4.8%減(速報ベース、店舗調整後)と14ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同7.4%減と36ヶ月連続のマイナス、スーパーは同3.8%減と9ヶ月連続のマイナスとなった。

9月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比2.8%増と2ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は、貨物車がマイナスとなったものの、普通乗用車、小型乗用車がプラスとなり、3ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車、貨物車ともにマイナスとなり、11ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅投資

9月の**新設住宅着工戸数**は、貸家、分譲住宅が前年同月比プラスとなったものの、持家、給与住宅はマイナスとなった。全体では前年同月比13.4%減の454戸となり、6ヶ月連続のマイナスとなった。

公共投資

9月の**公共工事請負額**は、前年同月比23.8%増の279億500万円と4ヶ月連続のプラスとなった。国が同20.7%増、県が同23.9%増、市町村が同40.9%増とそれぞれ増加した。一方、独立行政法人等は同19.3%減となった。

一次産業

東北農政局青森農政事務所の調査によると、**21年産水稻**の県平均作柄(10月15日現在)は10a当たりの予想収量が584kg、作況指数は「101」と見込まれている。9月の**21年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比22.0%増、県外市場販売額は同15.8%増となった。消費地市場価格は同6.5%低下し、安値であった前年を下回った。9月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比11.4%増となったものの、魚価が落ち込み、金額は同23.2%減となった。

生産活動

8月の**鉱工業生産指数(季節調整値)**は、前月比3.5%上昇の97.3となった。原指数をみると、全体では前年同月比10.8%低下の88.2となった。食料品は水産加工で底堅い動きが続いている。電気機械、電子部品・デバイスは在庫調整の進捗や新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加している。

一 次 産 業

米

21年産水稻、10a 当たりの予想収量 584 kg

東北農政局青森農政事務所の調査によると、21年産水稻の県平均作柄(10月15日現在)は、出穂後の平均気温が平年より低めに推移したものの、9月中旬以降、気温、日照時間が回復傾向となったことから登熟が平年並みとなり、10a 当たりの予想収量が 584 kg、作況指数は「101」と見込まれている。作付面積(子実用)は、大豆など他作物への転換等により、前年産比 0.2%減(100ha 減)の 4万 9,100ha、うち主食用作付見込面積は 47,600ha と見込まれている。この結果、予想収穫量(子実用)は同 4.6%減(1万 3,900 トン減)の 28万 6,700 トン、主食用の予想収穫量は 27万 8,000 トンと見込まれている。

平成21年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

作付面積 (子実用) ヘクタール	前年産比		10a 当たり 予想収量 kg	作況指数	予想収穫量 (子実用) トン	前年産比		主食用作付 見込面積 ヘクタール	予想収穫量 (主食用) トン
	増減面積 ヘクタール	増減率 %				増減量 トン	増減率 %		
49,100	100	0.2	584	101	286,700	13,900	4.6	47,600	278,000

資料出所:東北農政局青森農政事務所

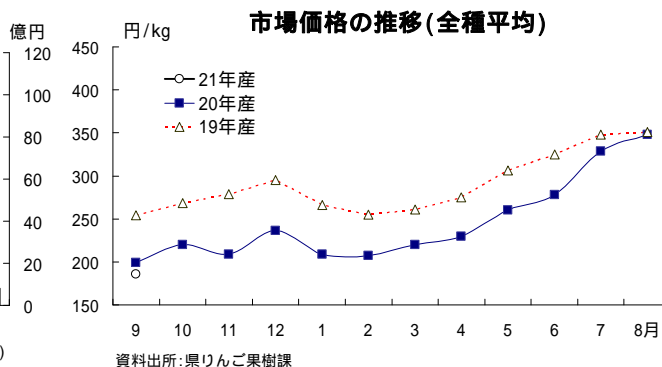
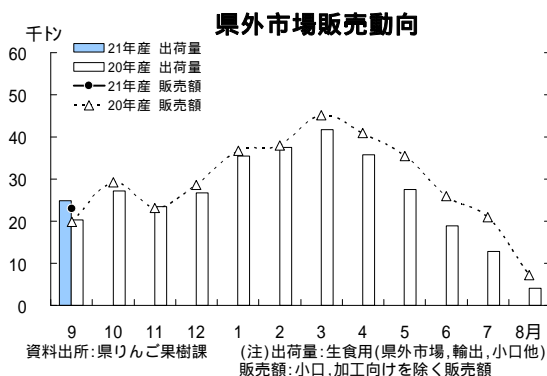
- ・ 作付面積(子実用)とは、青刈り用の面積を除いた面積。
- ・ 主食用作付見込面積とは、作付面積(青刈り面積を含む)から生産調整カウントとなる米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた見込面積。

りんご

21年県産リンゴ販売、価格面で厳しいスタート

21年県産リンゴ販売、9月の県外出荷量は前年同月比 22.0%増の 2万 4,814 トンとなった。これは前3ヶ年の9月平均出荷量を 34.2%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比 13.1%、前3ヶ年比較で 7.1%それぞれ上昇の 121 円/kg となったものの、消費地市場価格は前年同月比 6.5%、前3ヶ年比較で 22.2%それぞれ低下の 186 円/kg と落ち込んだ。この結果、9月の県外市場販売額は前年同月比 15.8%増の 45 億 9,000 万円となった。

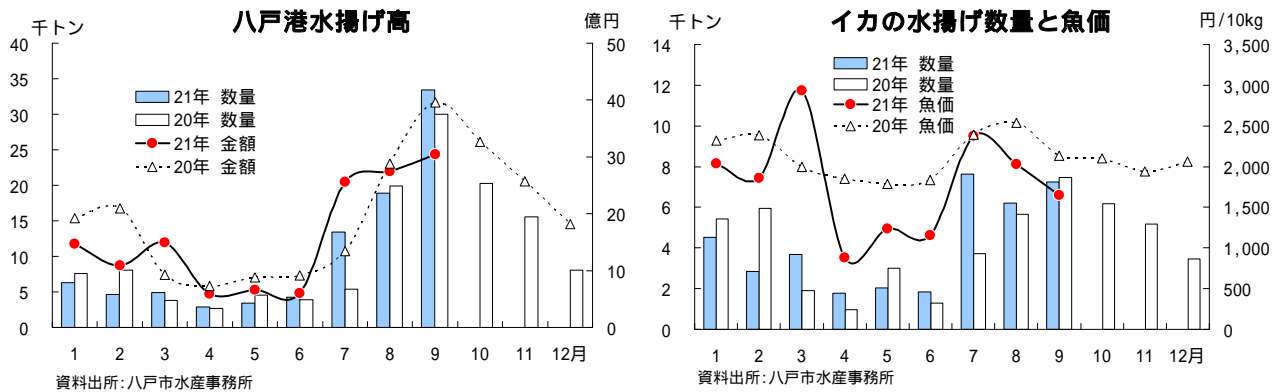
21年県産リンゴは、収穫時期が例年より早まり出荷が前倒しとなったことから、9月の出荷量は大幅に増加し、販売金額も前年同月を上回った。しかし、市場価格は景気低迷による消費の減退や、ミカンやカキなどの競合果実の入荷が多かったことなどから安値であった前年をさらに下回り、価格面では厳しいスタートとなった。



八戸港水揚げ

魚価落ち込みにより水揚げ金額 23.2%減

9月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比11.4%増の3万3,463トン、金額は同23.2%減の30億4,129万円となった。うちイカ釣り漁は、数量が同2.8%減の7,245トン、金額は同24.6%減の11億9,754万円となった。主力の船凍スルメイカが数量で同19.1%減、金額で同22.9%減と大幅に減少した。また、アメリカオオアカイカは数量が同約3倍となったものの、魚価が同59.0%減と大幅に落ち込み、金額は同29.5%増にとどまった。この結果、イカの平均単価は同22.4%減の1,653円/10kgとなった。大中型旋網漁は、サバの好調な水揚げにより数量が同18.9%増の19,773トンとなったものの、魚価が大幅に落ち込み、金額は同28.0%減の10億4,463万円となった。機船底引き網漁はスルメイカ中心の水揚げとなり、数量が同21.3%増の5,327トン、金額は2.3%増の6億3,264万円となった。



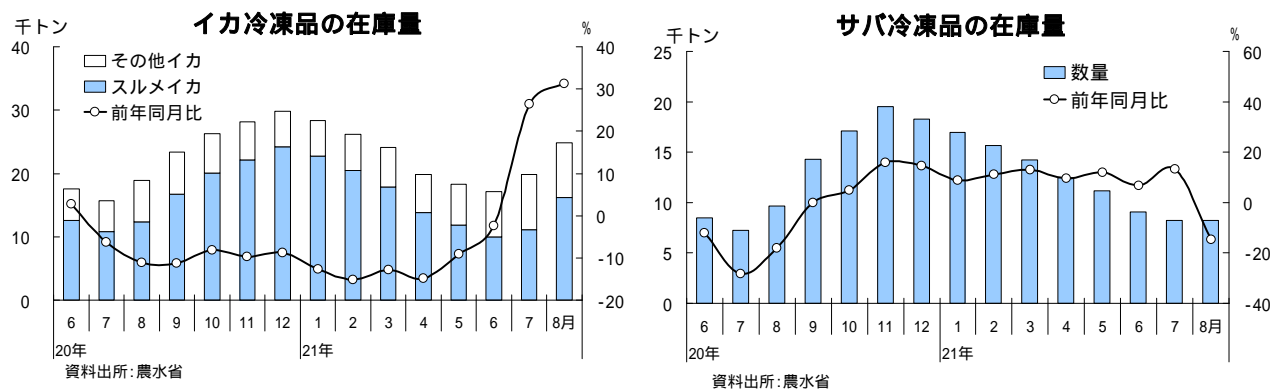
二次産業

水産加工

イカ冷凍品在庫量、2ヶ月連続のプラス

8月の八戸地区イカ冷凍品在庫量は、船凍スルメイカの好調な水揚げが続いていることから、前年同月比31.4%増の2万4,795トンと大幅に増加し、2ヶ月連続で前年同月を上回った。一方、サバ冷凍品在庫量は、同14.6%減の8,244トンと11ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

9月の加工品の動きをみると、イカステーキ、ローストなどのペルーイカ製品が順調な荷動きとなったものの、イカ冷凍品や一夜干し、開きイカなどのスルメイカ加工品は生スルメイカの好漁から鈍い動きとなった。一方、サバ製品は、競合するサンマなどの鮮魚が出回っており、メサバ、フィレー加工品は鈍い荷動きとなった。今年のサバ水揚げは加工用に適したサイズが多く、サバ加工品の原料不足は解消した模様である。

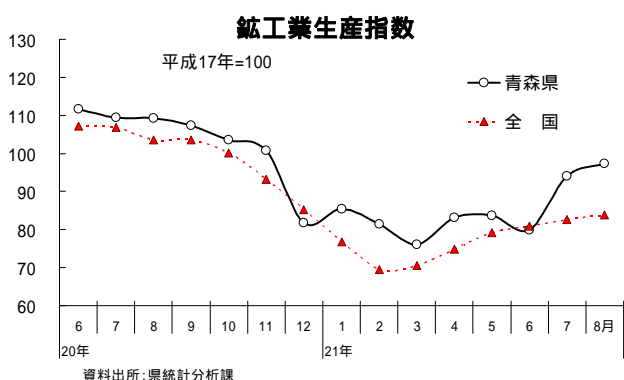


鉱工業生産

☆ 季節調整済指数、前月比 3.5%上昇の 97.3

8月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比3.5%上昇の97.3となった。主要6業種をみると、電子部品・デバイスが同12.9%、パルプ・紙が同23.9%、電気機械が同37.0%それぞれ上昇した。一方、ウエートの高い食料品は同1.3%、一般機械は同5.3%、鉄鋼は同5.0%それぞれ低下した。このほかでは、金属製品が同16.8%、窯業・土石が同10.4%上昇し、化学は同53.5%低下した。原指数でみると、全体では前年同月比10.8%低下の88.2となった。食料品は前年を上回って推移しているものの、他の主要業種はマイナスが続いている。

食料品は内食化や国産品志向などの動きを受け、水産加工で底堅い動きが続いている。電気機械、電子部品・デバイスは在庫調整の進捗や新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加している。パルプ・紙は持ち直しの兆しがみられる。



業種 ()内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱工業 (10000.0)	97.3	3.5	88.2	10.8
食料品 (2249.0)	102.7	1.3	103.7	18.9
一般機械 (1254.7)	95.4	5.3	73.4	25.6
電子部品・デバイス (1106.8)	95.1	12.9	88.7	13.1
鉄鋼 (1008.6)	71.5	5.0	60.9	16.8
パルプ・紙 (807.5)	117.7	23.9	97.6	12.3
電気機械 (550.4)	137.3	37.0	129.9	14.9

資料出所: 県統計分析課

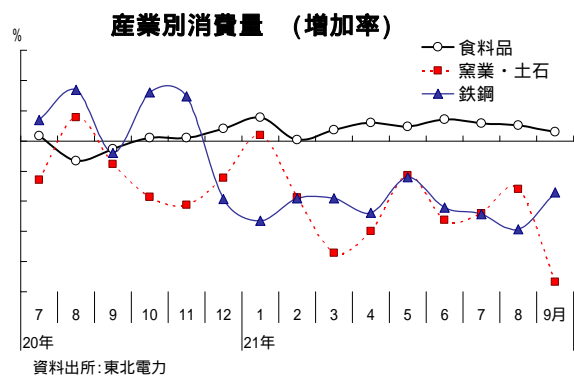
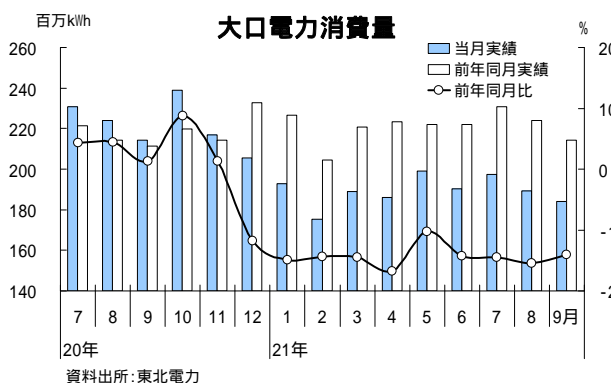
大口電力

☆ 製造業の大口電力消費量、10ヶ月連続マイナス

9月の県内大口電力消費量は、前年同月比14.0%減の1億8,410万kWhとなった。うち製造業は同15.6%減の1億2,956万kWhと10ヶ月連続のマイナスとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、食料品が同2.9%増となったものの、窯業・土石は同46.7%減と前年同月を大幅に下回ったほか、消費ウエートの高い鉄鋼は同17.0%減となった。このほかでは、化学が同36.7%増となったものの、パルプ・紙は同34.1%減、繊維は同19.6%減、機械は同17.2%減、非鉄金属は同5.1%減とそれぞれ前年同月を下回った。

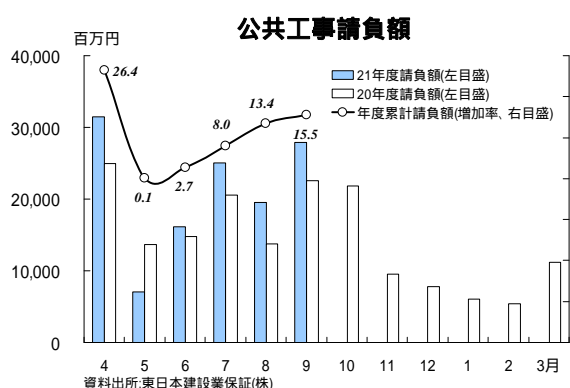
県内の大口電力消費量をみると、食料品では底堅い操業が続いていることがうかがわれる。一方、他の業種では全体的に前年を下回る動きが続いていることがうかがわれる。



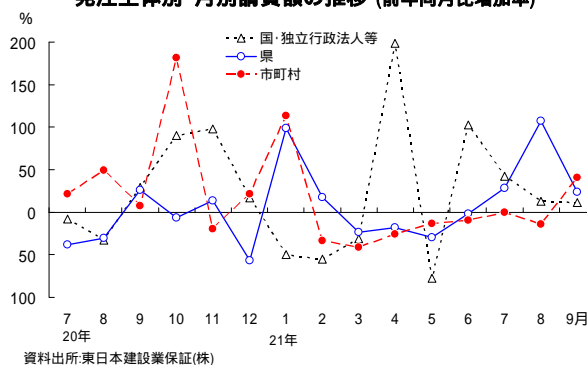
公共工事

公共工事請負額、前年同月比 23.8%増、4ヶ月連続のプラス

9月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 23.8%増の 279 億 500 万円と 4ヶ月連続のプラスとなった。当月の請負額は、国が国土交通省などの増加により同 20.7%増の 53 億 3,900 万円、ウエートの高い県が西北、中南地域県民局などの増加により同 23.9%増の 139 億 6,000 万円、市町村が三沢市、東通村などの増加により同 40.9%増の 65 億 3,400 万円とそれぞれ大幅に増加した。一方、独立行政法人等は弘前大学関連の減少により同 19.3%減の 10 億 9,400 万円となった。この結果、平成 21 年度上期の累計工事請負額(4~9月)は、各事業主体の前倒し発注などにより前年同期比 15.5%増の 1,272 億 7,400 万円となった。内訳別にみると、市町村が同 4.8%減となったものの、国は同 37.7%増、独立行政法人等は同 49.5%増、県は同 13.7%増とそれぞれ前年同期を上回った。



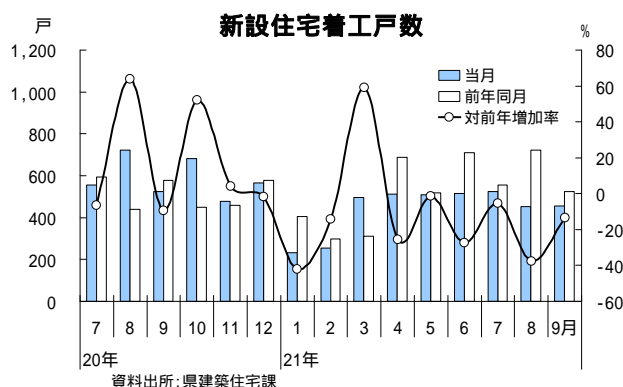
発注主体別・月別請負額の推移 (前年同月比増加率)



住宅着工

新設住宅着工戸数、6ヶ月連続のマイナス

9月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 13.4%減の 454 戸と 6ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、貸家が同 18.3%増、分譲住宅が同 36.8%増となったものの、持家は同 14.5%減、給与住宅は同 84.2%減となった。地域別にみると、八戸市、三沢市、むつ市、平川市で増加したものの、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、つがる市、郡部で減少した。持家は青森市、八戸市で大幅に減少した。貸家は青森市、黒石市、十和田市で全減となったものの、八戸市、三沢市で大幅に増加した。給与住宅は弘前市が前年同月の 48 戸から全減となった。分譲住宅は青森市、弘前市などで増加した。当月の新設住宅着工戸数は、貸家が増加したものの、持家の低迷が続いているほか、給与住宅が落ち込み、全体では低調な動きとなった。



利用関係別戸数

	21年 9月	20年 9月	前年 同月比
持家	290	339	-14.5
貸家	129	109	18.3
給与住宅	9	57	-84.2
分譲住宅	26	19	36.8
総戸数	454	524	-13.4

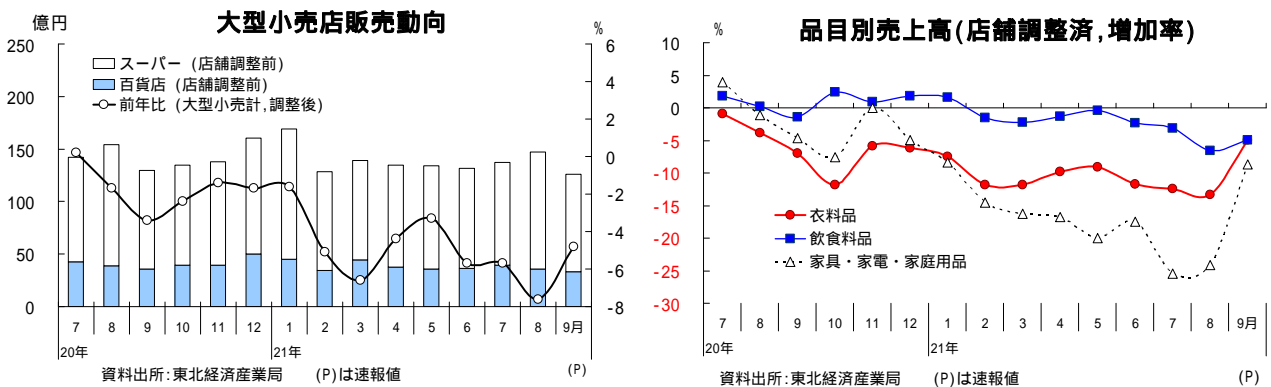
資料出所: 県建築住宅課

三次産業

大型小売店販売

大型小売店販売、14ヶ月連続のマイナス

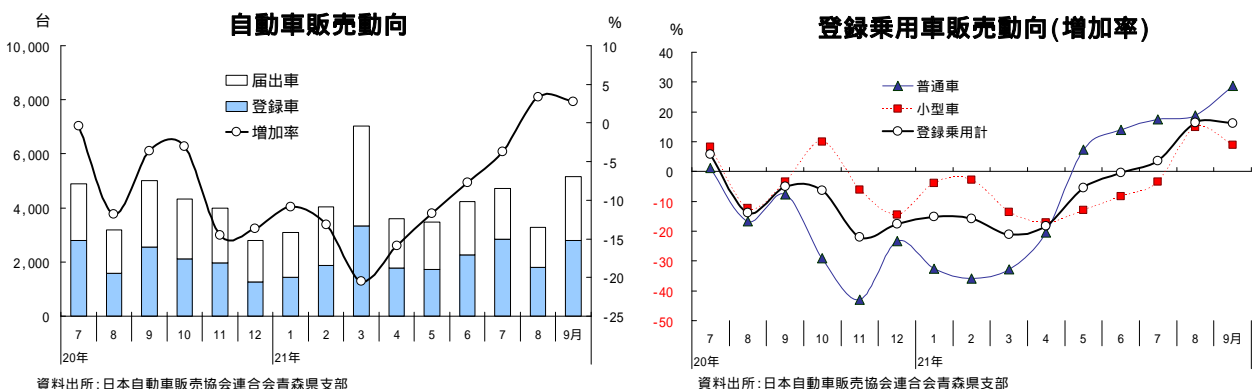
9月の県内大型小売店販売額は、前年同月比4.8%減(速報ベース、店舗調整後)と14ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同7.4%減と36ヶ月連続のマイナス、スーパーは同3.8%減と9ヶ月連続のマイナスとなった。品目別では、衣料品が同4.9%減、ウエートの高い飲食料品が同4.9%減、家具・家電・家庭用品が同8.7%減、身の回り品が同8.7%減となった。衣料品は婦人・子供向けの秋物衣料で動きがみられたものの、紳士衣料は前年を下回った。飲食料品はシルバーウィークの影響で土産品、惣菜などが好調であったものの、全体では鈍い動きとなった。家具・家電・家庭用品は、薄型テレビや冷蔵庫などが堅調に推移しているほか、家具類が好調であったものの、全体としては前年を下回る動きとなった。



自動車販売

2ヶ月連続のプラス、登録乗用車で好調な売れ行き

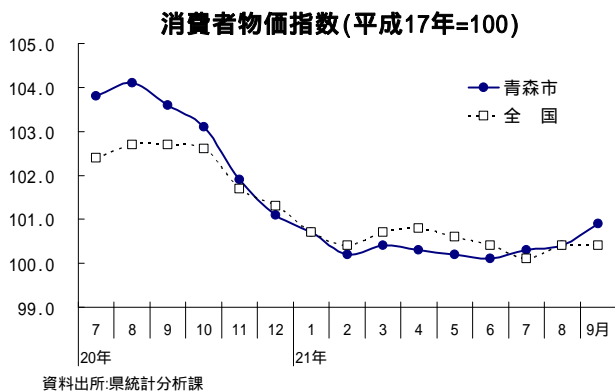
9月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比2.8%増の5,154台と2ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は、貨物車が同25.2%減となったものの、普通乗用車は同28.7%増と4ヶ月連続のプラスとなったほか、小型乗用車も同8.8%増と2ヶ月連続のプラスとなった。この結果、登録車合計では同10.0%増と3ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同1.6%減、貨物車が同12.4%減となり、届出車合計では同4.7%減と11ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同16.1%増となり、全体では同8.0%増と2ヶ月連続のプラスとなった。県内の自動車販売は、環境対応車を中心とした登録乗用車で好調な売れ行きが続いている。



消費者物価指数

前月比 0.5%上昇、前年同月比 2.6%下落

9月の青森市の消費者物価指数(平成17年=100,速報値)は100.9となり、前月比0.5%上昇、前年同月比2.6%下落となった。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」がシャツ・セーター類、洋服などの値上がりにより10.4%、「家具・家事用品」が寝具類の値上がりにより0.9%、「住居」が家賃の値上がりにより0.7%それぞれ上昇した。一方、「保健医療」は医薬品などの値下がりにより1.0%、「教養娯楽」はパック旅行などの値下がりにより0.8%それぞれ下落した。前年同月との比較では、「光熱・水道」(16.9%)、「交通・通信」(6.2%)、「保健医療」(1.3%)、「教養娯楽」(1.2%)、「食料」(1.6%)、などの変動が大きかった。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は100.5となり、前月比0.5%上昇、前年同月比3.2%下落した。



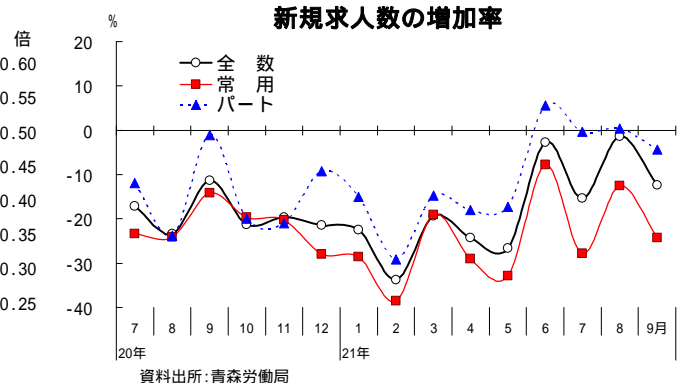
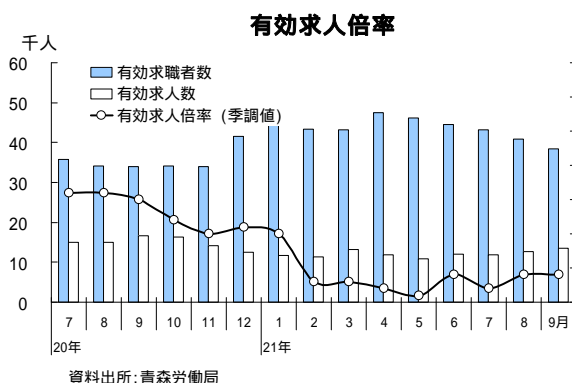
費目別指数の動き(平成21年9月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.9	0.5	2.6
食料	103.9	0.3	1.6
住居	98.7	0.7	0.9
光熱・水道	106.6	0.0	16.9
家具・家事用品	95.8	0.9	1.1
被服及び履物	101.6	10.4	0.9
保健医療	97.8	1.0	1.3
交通・通信	99.6	0.6	6.2
教育	102.1	0.0	0.4
教養娯楽	94.0	0.8	1.2
諸雑費	101.7	0.2	0.0

雇用動向

有効求人倍率、前月比横バイの0.29倍

9月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比18.5%減の1万3,583人、有効求職者数が同13.3%増の3万8,446人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比横バイの0.29倍となった。新規求人の動きをみると、臨時季節求人数が前年同月比12.2%増となったものの、常用求人数は同24.2%減、パート求人数は同4.4%減となった。この結果、全数では同12.4%減となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比で見ると、農・林・漁業、不動産業、宿泊業などで増加したものの、運輸業、小売業など大半の業種で減少した。製造業では鉄鋼業、電子部品・デバイスなどで増加したものの、情報通信機械、電気機械などで減少した。県内の雇用情勢は依然として低水準で推移しており、新規求人数の前年割れが続くなど、厳しい状況が続いている。

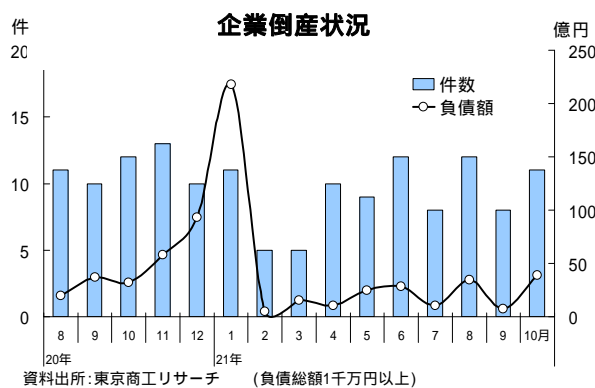


企業倒産

大型倒産 2 件発生、負債総額が大幅増加

10月の県内企業倒産は、件数が前年同月比1件減の11件、負債総額は同6億6,800万円増の38億8,800万円となった。前月と比べると、件数が3件増、負債総額は31億6,500万円増となった。倒産の内訳をみると、業種別では建設業が5件、小売業が3件、サービス業が2件、運輸業が1件となった。地域別では青森市、弘前市、五所川原市が各2件、八戸市、三沢市、つがる市、北津軽郡、上北郡が各1件となった。また、倒産要因は販売不振が5件、過小資本、他社倒産の余波が各3件となった。

当月の県内企業倒産は、大型倒産2件（建設業、小売業）発生により、負債総額が大幅に増加し、21年中では1月(217億6,800万円)に次ぐ高水準となった。



業種別・原因別件数 (平成21年10月)

業種	件数	原因	件数
一次産業		放漫経営	
建設業	5	過小資本	3
製造業		他社倒産の余波	3
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業	3	信用低下	
不動産業		販売不振	5
運輸・通信業	1	売掛金回収難	
サービス業ほか	2	在庫状況悪化	
合計	11	設備投資過大	
		その他	
		合計	11

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

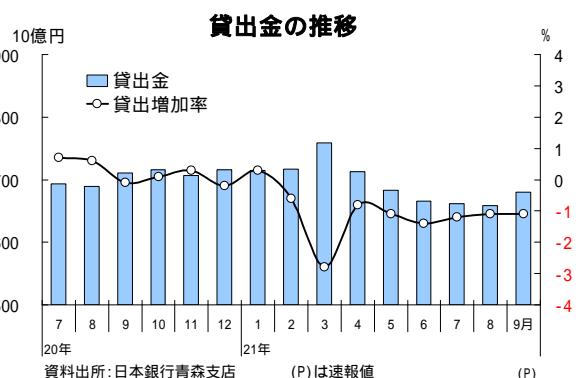
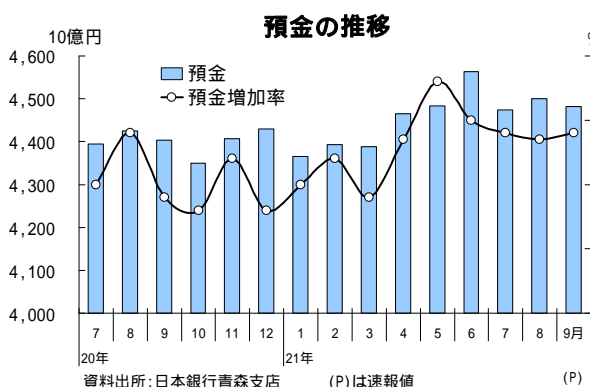
金融動向

預金 35 ヶ月連続のプラス、貸出金 8 ヶ月連続のマイナス

9月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.8%増の4兆4,826億円、貸出金は同1.1%減の2兆6,800億円となった。

預金は個人預金、公金預金が前年比プラスで推移しているほか、法人預金がプラスに転じたことから、全体ではプラス幅が拡大し、35ヶ月連続で前年を上回った。一方、貸出金は個人のマイナス幅が拡大し、地公体向けのプラス幅が縮小した一方、法人向けのマイナス幅が縮小したことから、全体では前月と同水準となり8ヶ月連続で前年を下回った。

県内の金融動向は、預金が前年を上回って推移している一方、貸出金は個人向け、法人向けで前年割れが続いており、前年を下回る動きが続いている。



青森県景気動向指数

一致系列

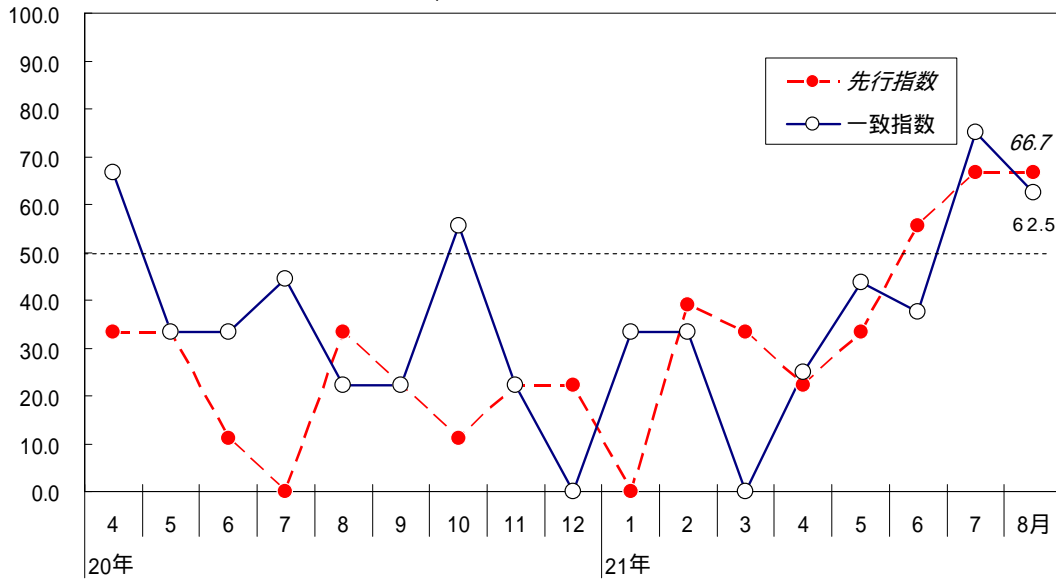
		大型小売店 販売額 (既存店)	鉱工業生産 指 数	電気機械 生産指数	大口電力 使用量	有効求人数 (全 数)	総実労働 時間数 (全産業)	海上出入 貨物量 (八戸港)	東北自動車 道IC利用 台数	日 銀 券 月中発行高
20年	8月									
	9月									
	10月									
	11月									
	12月									
21年	1月									
	2月									
	3月									
	4月									
	5月									
	6月									
	7月									
	8月									

(注1) 5カ月前と比べて改善した指標を、悪化した指標を で表示、-は変化なし

(注2) 「東北自動車道IC利用台数」については、休日のETC割引実施の影響を受けるため、当面の間、判定に用いないこととする。

資料出所：県統計分析課

青森県景気動向指数の動き
(先行指数・一致指数)



資料出所：県統計分析課

景気動向指数 (DI) とは

1. あらかじめ選定された景気に敏感な経済指標のうち、5カ月前と比べて上昇あるいは拡張を示している指標の割合を表す指数 (Diffusion Index)。DIには次の3指数がある。

- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状判断に利用
- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の前測に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから景気の確認に利用

一致指数が3カ月連続して50%を上(下)回る場合、景気は転換点を迎えたとみなされる。

2. DIの算出は、 $[(\text{指標数} \times 1) + (- \text{指標数} \times 0.5)] \div \text{全指標数} \times 100$ で算出する。

国内景気

概況

国内景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。個人消費は持ち直しの動きが続いている。生産は持ち直している。設備投資、住宅建設は減少している。輸出はアジア向けを中心に増加しており、輸入は持ち直している。雇用情勢は悪化傾向が続いており、極めて厳しい状況にある。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 18ヶ月連続のマイナス -

9月の大型小売店販売は前年同月比5.6%減と18ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同7.8%減、スーパーは同4.2%減となった。商品別にみると、衣料品が同9.7%減、飲食料品が同3.5%減、その他商品が同5.4%減となった。

住宅建設

- 10ヶ月連続のマイナス -

9月の新設住宅着工戸数は前年同月比37.0%減の6万1,181戸と10ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、持家が同19.7%減と12ヶ月連続のマイナスとなったほか、貸家が同39.0%減、分譲住宅が同52.5%減とそれぞれ10ヶ月連続のマイナスとなった。

企業倒産

- 倒産件数、1,200件を下回る -

9月の企業倒産は件数が前年同月比18.0%減の1,155件、負債総額は同94.2%減の3,088億円となった。倒産件数は1年7ヶ月ぶりに1,200件を下回った。負債総額はリマン・ブラザー証券関連倒産による前年同月実績(負債総額5兆3,625億円)から大幅に減少した。

為替動向

- 10月末終値91円09銭 -

10月の東京為替市場は、9月末の流れを受け上旬は80円台後半での動きとなった。中旬から下旬にかけては90円台前半での動きとなった。高金利のユーロや資源国通貨が買われ、米国の長期金利上昇などから円売りが進み、一時92円台まで下落した。月末にかけては世界景気回復期待への後退感などから円が買われる場面がみられ、月末終値は91円09銭。

鉱工業生産指数

- 7ヶ月連続の上昇 -

9月の鉱工業生産指数は前月比1.4%上昇の85.1(季節調整値)と7ヶ月連続の上昇。上昇に寄与したのは、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業等であった。品目別では普通乗用車、シャシー・車体部品、小型乗用車等であった。なお、生産予測調査によると、10月は一般機械工業、電子部品・デバイス工業等の上昇により当月比3.1%上昇を予測。

新車販売（除く軽自動車）

3ヶ月連続のプラス

10月の国内新車販売は前年同月比12.6%増の26万3,506台と3ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同19.0%増、貨物車は同28.4%減となった。乗用車は普通乗用車が同23.4%増と4ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同15.5%増と3ヶ月連続のプラスとなった。

完全失業率

完全失業者数11ヶ月連続の増加

9月の完全失業率は前月比0.2ポイント低下の5.3%(季節調整値)となった。完全失業者数は前年同月比92万人増の363万人と11ヶ月連続の増加。離職者を求職理由別にみると、自己都合が同6万人増の114万人、リストラ等勤め先都合が同51万人増の113万人などとなった。

消費者物価指数

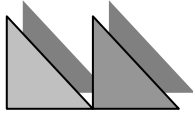
- 前月比横バイ、前年同月比2.2%下落 -

9月の全国消費者物価指数(2005年=100)は100.4となり前月比横バイ、前年同月比2.2%下落となった。前月に比べ被服及び履物などが上昇し、教養娯楽、食料などは下落した。なお、生鮮食品を除く総合指数は100.2となり前月比0.1%上昇、前年同月比2.3%下落となった。

国際収支

- 経常収支額、再び黒字幅拡大 -

8月の経常収支額は1兆1,712億円となり、黒字幅は前年同月比10.4%増と再び拡大した。所得収支の黒字幅が縮小したものの、貿易収支は前年同月の赤字から黒字へ転換した。一方、サービス収支は赤字幅が拡大した。内訳は、貿易収支が3,037億円、所得収支が1兆606億円のそれぞれ黒字となった。一方、サービス収支は1,228億円、経常移転収支は703億円のそれぞれ赤字となった。

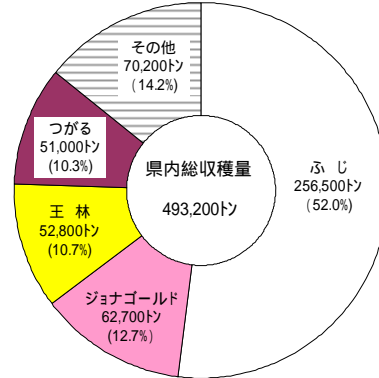


今月の統計

平成20年産 青森県産リンゴの概況

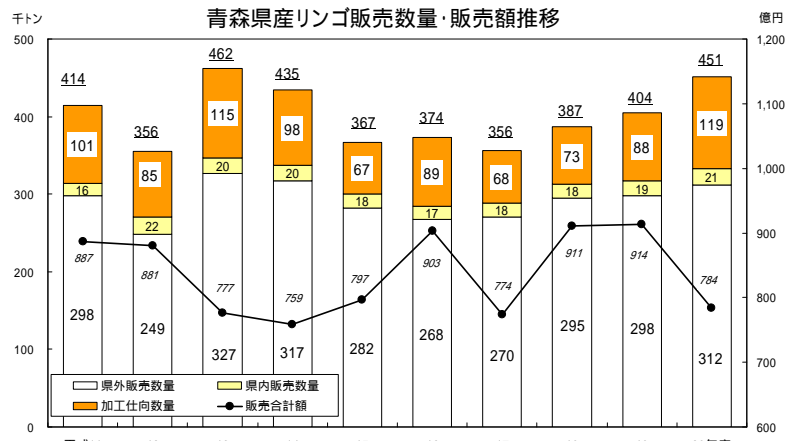
農 林水産省の調べによると、平成20年産の全国のリンゴ収穫量は、おおむね天候に恵まれ、着果数が多く、果実肥大も良好であったことから、前年比同8.4%増の91万700トンとなった。うち青森県産リンゴの収穫量は同7.7%増の49万3,200トンとなり、全国の54.2%を占めた。なお、本県に次いで収穫量が多かったのは、長野県が18万5,500トン(20.4%)、岩手県が6万2,000トン(6.9%)などの順となった。青森県産リンゴの収穫量を品種別にみると、「ふじ」が25万6,500トン(52.0%)と最も多く、次いで「ジョナゴールド」が6万2,700トン(12.7%)、「王林」が5万2,800トン(10.7%)、「つがる」が5万1,000トン(10.3%)などの順となった。

平成20年産 青森県産リンゴの収穫量内訳



資料出所：農林水産省農林水産統計

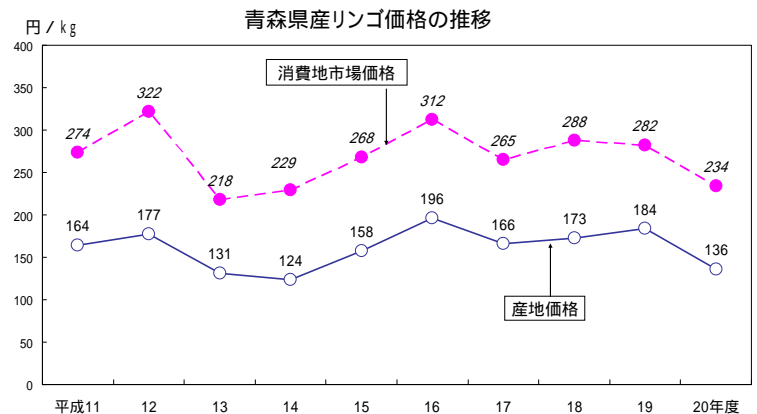
平 成20年度(平成20年9月～21年8月)の県産リンゴの販売実績をみると、販売合計数量は前年度比11.6%増の45万1,216トン、うち県外出荷数量は同4.8%増の31万2,042トンとなった。また、県内販売数量は同8.1%増の2万667トン、加工仕向数量は同35.4%増の11万8,507トンとなった。一方、価格面をみると、全種平均産地価格が前年度比26.1%低下の136円/kg、同消費地市場価格は同17.0%低下の234円/kgとなった。この結果、販売合計金額は同14.2%減の784億円となり、前年度から大幅ダウンとなった。



資料出所：青森県農林水産部りんご果樹課

四捨五入のため数量合計は内訳と一致しない場合がある。

20年県産リンゴ販売は、全国一斉の販売キャンペーンや、輸出拡大、加工促進などの対策により、販売数量は前年を上回ったものの、景気の低迷による消費の減退、霜・ひょう害による下位等級品が多かったことなどから、価格が低調に推移し、販売額は前年を大幅に下回る結果となった。



資料出所：青森県農林水産部りんご果樹課

県内経済

2日 弘前再開発ビルが破綻

弘前市の第三セクター 弘前再開発ビルは、民事再生法に基づく経営再建を断念。再生手続き廃止を青森地裁弘前支部に申し立て、廃止決定と保全管理命令を受けた。負債総額は9月末現在で約40億6千万円。

9日 ブナコ漆器製造、グッドデザイン賞受賞

弘前市のブナコ漆器製造の2製品が日本産業デザイン振興会主催の2009年度グッドデザイン賞を受賞した。同社の受賞は今回で2年ぶり5回目となる。

14日 アンデス電気、再生計画案認可

民事再生手続き中のアンデス電気（八戸市）の債権者集会在東京地裁で開かれ、再生計画案が賛成多数で可決された。東京地裁は同日、再生計画案の認可を決定した。

15日 2008年の製造品出荷額、前年比0.1%減の1兆6,495億円

県が発表した2008年の工業統計速報によると、県内の製造品出荷額（加工賃収入などを含む）は前年比0.1%減の1兆6,495億円、粗付加価値額（出荷額から原材料使用額を差し引いた額）は同2.7%減の6,959億円となった。

農林水産祭で中泊町の(有)端宝が天皇賞

農林水産省と日本農林漁業振興会が実施する第48回農林水産祭の農産部門で、中泊町で有機農業による稲作に取り組んでいる(有)端宝に最高賞の天皇杯が贈られることが決定した。

21日 新型インフルエンザ、県内初の「注意報」発令

県は新型インフルエンザの流行に関して、県内初となる「注意報」を東地方・青森市、八戸、上十三の各保健所管内に発令した。

25日 八戸市長に現職の小林氏再選

任期満了に伴う八戸市長選で、即日開票の結果、現職の小林眞氏が再選を果たした。

国内経済

8日 9月街角景気、前月比1.4ポイント上昇

内閣府が発表した9月の景気ウォッチャー調査によると、街角の景気実感を3ヶ月前と比較した現状判断指数は、前月比1.4ポイント上昇の43.1となった。

16日 月例報告、景気の厳しい現状を強調

菅直人国家戦略担当相は新政権発足後初の月例経済報告を閣議に提出した。国内景気の基調判断を「景気は、持ち直してきているが、自立性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある」と、景気が厳しい現状にあることを強調し、判断自体は3ヶ月連続で据え置いた。

22日 2009年度上半期の貿易黒字額、前年同期比約2.5倍

財務省が発表した2009年度上半期（4-9月）の貿易統計速報（通関ベース）によると、輸出から輸入を差し引いた貿易黒字額は前年同期比約2.5倍の1兆9,503億円となった。

ウィンドウズ7、一斉発売

米国マイクロソフト社の新しいパソコン用基本ソフト（OS）「ウィンドウズ7」が国内で一般利用者向けに一斉発売された。

27日 全国の景気判断、2期連続で上方修正

財務省が全国財務局長会議でまとめた7-9月期の各地の経済情勢報告によると、全国11地域のうち7地域の景気判断が上方修正、全国の景気判断は「厳しい状況にあるものの、生産活動が上向くなど一部に持ち直しの動きがみられる」と2期連続で上方修正となった。

全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2003(H15)	701,103	511,675	413,853	1.799	16,255	115,518	94.1	1,160,083	134,773	217,593
2004(H16)	715,020	518,681	404,000	1.732	13,679	78,177	98.7	1,189,049	114,803	214,672
2005(H17)	736,324	526,410	408,548	1.623	12,998	67,035	100.0	1,236,175	117,818	213,284
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,485	95,815	209,511
2008(H20) 7	757,150	552,087	418,601	1.910	1,372	6,653	106.8	97,212	8,851	18,659
8	756,144	550,821	418,867	1.908	1,254	8,680	103.5	96,905	8,074	16,527
9	751,178	552,083	420,719	1.913	1,408	53,625	103.6	97,184	10,040	15,589
10	756,037	548,134	423,809	1.906	1,429	10,077	100.1	92,123	10,818	16,668
11	759,854	554,497	428,411	1.889	1,277	5,761	93.1	84,277	6,621	17,820
12	784,262	557,055	436,848	1.865	1,362	6,327	85.3	82,197	8,457	21,590
2009(H21) 1	779,825	554,956	433,735	1.824	1,360	8,390	76.7	70,688	5,432	18,069
2	761,880	559,071	434,557	1.795	1,318	12,292	69.5	62,303	7,658	14,518
3	765,414	567,747	437,537	1.776	1,537	10,782	70.6	66,628	15,898	16,514
4	764,847	567,707	433,783	1.756	1,329	5,219	74.8	66,198	3,927	15,960
5	768,223	565,972	433,094	1.746	1,203	5,399	79.1	62,805	4,961	16,185
6	758,829	570,988	430,585	1.703	1,422	4,771	80.9	68,268	8,101	16,029
7	762,666	565,033	429,099	1.697	1,386	3,710	82.6	65,974	8,505	17,360
8	759,799	564,256	426,508	1.694	1,241	2,842	83.9	59,749	8,094	15,696
9	758,706				1,155	3,088	P 85.1	61,181		P 14,936
前月比 %	-0.1	-0.1	-0.6	-0.003% 引	-6.9	8.6	1.4	2.4	-4.8	0.6
前年同月比%	1.0	2.4	1.8	-0.214% 引	-18.0	-94.2	-18.9	-37.0	0.2	-5.6
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2005年 = 100	消費者 物価指数 2005年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	東証1部 平均株価 (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円 / US \$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2003(H15)	4,460	97.1	100.3	-	5.3	9,303.80	157,668	673,529	115.94	111.260
2004(H16)	4,768	98.4	100.3	-	4.7	11,166.37	186,184	844,543	108.17	126.864
2005(H17)	4,748	100.0	100.0	-	4.4	12,411.93	182,591	846,897	110.21	138.398
2006(H18)	4,642	102.2	100.3	-	4.1	16,117.45	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	104.0	100.3	-	3.8	16,990.46	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	108.8	101.7	-	4.0	12,142.80	162,802	1,030,647	103.39	147.854
2008(H20) 7	383	112.4	102.4	101.9	4.0	13,168.91	15,693	1,004,658	106.81	201.914
8	255	112.5	102.7	99.1	4.2	12,989.35	10,610	996,741	109.28	199.048
9	397	111.8	102.7	98.4	4.0	12,123.53	15,646	995,890	106.75	191.535
10	315	109.5	102.6	96.1	3.7	9,117.03	9,796	977,723	100.33	173.662
11	296	107.5	101.7	93.2	3.9	8,531.45	6,236	1,002,861	96.81	158.652
12	253	106.3	101.3	90.6	4.4	8,463.62	1,629	1,030,647	91.28	147.854
2009(H21) 1	256	104.7	100.7	88.0	4.1	8,331.49	-1,327	1,010,958	90.41	143.107
2	325	104.2	100.4	85.2	4.4	7,694.78	11,348	1,009,354	92.50	139.699
3	463	104.0	100.7	84.8	4.8	7,764.58	15,346	1,018,549	97.87	139.827
4	236	103.4	100.8	86.2	5.0	8,767.96	6,606	1,011,473	99.00	143.336
5	245	102.9	100.6	87.4	5.2	9,304.43	13,114	1,024,012	96.30	141.840
6	319	102.5	100.4	88.6	5.4	9,810.31	12,794	1,019,175	96.52	144.971
7	372	102.9	100.1	89.8	5.7	9,691.12	P 12,656	1,022,657	94.50	146.320
8	264	102.9	100.4	91.2	5.5	10,430.35	P 11,712	1,042,340	94.84	150.133
9	389	P 103.0	100.4	P 92.5	P 5.3	10,302.87		1,052,598	91.49	148.890
前月比 %	47.3	0.1	0.0	-	-0.2% 引	-1.2	-7.5	1.0	-3.5	-0.8
前年同月比%	-2.0	-7.9	-2.2	-	1.3% 引	-15.0	10.4	5.7	-14.3	-22.3
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2003(H15)	1,467,047	-5,295	-431	43,499	30,483	129	29,559	881,441	1,791
2004(H16)	1,459,478	-6,907	-1,056	43,568	29,378	118	54,410	822,092	1,791
2005(H17)	1,449,732	-7,491	-283	42,940	28,748	120	25,451	790,713	2,082
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-9,993	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2008(H20) 8	1,395,716	-237	-2	44,244	26,893	11	1,986	42,223	64
9	1,395,208	-140	-159	44,029	27,110	10	3,706	62,752	142
10	1,394,806	0	-403	43,496	27,163	12	3,220	51,521	431
11	1,394,366	-129	151	44,072	27,064	13	5,798	37,086	420
12	1,393,670	-158	-449	44,298	27,158	10	9,294	54,786	342
2009(H21) 1	1,392,976	-353	455	43,647	27,146	11	21,768	42,907	732
2	1,392,029	-308	-78	43,935	27,169	5	490	40,929	399
3	1,391,164	-5,053	-45	43,889	27,585	5	1,569	57,399	576
4	1,385,598	-65	-315	44,649	27,131	10	1,054	45,917	129
5	1,385,096	-182	158	44,830	26,833	9	2,450	31,669	65
6	1,384,450	-9	-130	45,632	26,657	12	2,870	48,196	190
7	1,383,903	-32	165	44,745	26,615	8	1,052	39,000	121
8	1,383,441	7	-50	45,010	26,590	12	3,457	38,771	78
9	1,383,069	-140	-37	P 44,826	P 26,800	8	723	40,185	66
10	1,382,517					11	3,888		
前月比 %	-0.0	-	-	-0.4	0.8	37.5	437.8	3.6	-15.4
前年同月比%	-0.9	-	-	1.8	-1.1	-8.3	20.7	-36.0	-53.5
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

日銀券の年次計数は年度累計
 企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2003(H15)	92.2	9,625	5,131	3,625	1,074	225,920	104,210	0.52	0.32
2004(H16)	96.8	8,971	4,788	3,635	964	231,700	86,268	0.57	0.37
2005(H17)	100.0	7,558	4,242	2,682	841	195,425	74,883	0.67	0.44
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.71	0.48
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.69	0.47
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2008(H20) 8	109.2	723	348	268	73	13,741	4,714	0.60	0.41
9	107.3	524	339	109	63	22,548	11,270	0.58	0.40
10	103.6	682	327	278	69	21,855	6,318	0.54	0.37
11	100.8	479	269	186	48	9,536	3,401	0.52	0.35
12	81.7	567	156	342	48	7,764	2,610	0.59	0.36
2009(H21) 1	85.4	234	102	109	21	6,084	2,631	0.49	0.35
2	81.4	255	92	143	25	5,405	1,363	0.42	0.28
3	76.0	495	178	305	40	11,199	2,376	0.51	0.28
4	83.1	512	358	147	60	31,491	8,948	0.45	0.27
5	83.7	510	349	135	62	7,081	2,864	0.51	0.26
6	79.8	514	312	187	53	16,175	6,135	0.55	0.29
7	94.0	526	317	170	61	25,051	5,735	0.46	0.27
8	P 97.3	452	303	135	56	19,568	9,758	0.60	0.29
9		454	290	129	52	27,905	13,960	0.57	0.29
前月比 %	3.5	0.4	-4.3	-4.4	-7.1	42.6	43.1	-0.03% イト	0.00% イト
前年同月比%	-10.8	-13.4	-14.5	18.3	-17.5	23.8	23.9	-0.01% イト	-0.11% イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2005年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ワッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2003(H15)	192,433	35,493	48,644	100.1	293,589	196,437	29,584	-	-
2004(H16)	184,957	33,711	47,807	100.0	308,706	178,484	25,464	-	-
2005(H17)	180,137	32,986	47,026	100.0	286,255	168,420	23,479	-	-
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.2	299,079	158,530	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	99.9	286,305	141,530	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	99.9	291,752	143,144	17,926	-	-
2008(H20) 8	15,420	1,592	2,522	104.1	255,291	10,617	1,202	-	-32.7
9	12,960	2,551	3,873	103.6	349,395	10,073	1,154	-	
10	13,460	2,115	3,376	103.1	247,865	9,617	1,158	15.9	-50.0
11	13,799	1,966	2,993	101.9	281,530	9,105	976	-	
12	16,056	1,270	2,094	101.1	361,710	10,864	1,249	-	-41.3
2009(H21) 1	16,940	1,428	2,537	100.7	286,144	19,073	3,016	13.0	
2	12,851	1,871	3,298	100.2	343,292	16,099	2,056	-	
3	13,939	3,333	5,647	100.4	300,598	14,024	1,670	-	-43.6
4	13,466	1,769	2,935	100.3	344,718	15,679	1,966	24.5	
5	13,400	1,727	2,832	100.2	288,713	16,636	1,955	-	
6	13,162	2,257	3,338	100.1	252,392	16,263	1,849	-	-35.0
7	13,744	2,844	3,848	100.3	305,813	14,990	1,814	37.0	
8	14,736	1,799	2,643	100.4	322,959	13,710	1,506	-	
9	P 12,576	2,807	4,183	100.9	313,639	12,052	1,415	-	
前月(期)比%	-	56.0	58.3	0.5	-2.9	-12.1	-6.0	12.5ポイント	8.6ポイント
前年同月(期)比%	-4.8	10.0	8.0	-2.6	-10.2	19.6	22.6	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2003(H15)	282,412	268	158	148,703	24,973	8,219	45,365	62,824	100,993
2004(H16)	267,724	312	196	142,787	28,689	11,667	45,253	65,236	106,412
2005(H17)	270,487	265	166	149,899	24,335	11,876	44,996	70,766	119,970
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	38,625	144,341	166,974
2008(H20) 8	5,228	351	-	19,928	2,878	1,334	3,497	7,060	15,223
9	20,343	199	107	30,041	3,960	1,282	3,033	11,522	10,207
10	27,203	220	158	20,246	3,269	1,639	1,893	16,085	14,780
11	23,482	209	145	15,564	2,572	927	2,609	6,597	10,913
12	26,710	236	103	8,017	1,820	802	1,404	13,475	10,939
2009(H21) 1	35,541	209	88	6,319	1,472	802	1,394	10,452	9,325
2	37,549	207	99	4,598	1,090	833	1,152	8,101	7,201
3	41,785	220	108	4,911	1,493	718	819	8,519	7,368
4	35,800	230	148	2,857	588	553	2,064	10,805	8,907
5	27,539	260	-	3,427	662	1,097	1,015	8,370	9,576
6	18,833	278	-	4,233	600	1,022	1,437	7,372	8,379
7	12,857	329	-	13,406	2,560	813	1,415	9,821	10,200
8	4,111	348	-	18,848	2,746	688	4,042	10,459	5,949
9	24,814	186	121	33,463	3,041	844	869	5,713	8,097
前月比 %	503.6	-46.6	-	77.5	10.7	22.7	-78.5	-45.4	36.1
前年同月比%	22.0	-6.5	13.1	11.4	-23.2	-34.2	-71.3	-50.4	-20.7
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (度C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2008(H20)	10.7	1,085.0	1,642.4	16,095
2008(H20) 8	21.9	164.5	160.3	1,778
9	19.6	38.5	195.6	1,304
10	14.2	74.5	163.1	1,299
11	6.9	117.5	98.5	1,252
12	2.7	182.0	64.9	1,325
2009(H21) 1	-0.1	127.5	65.6	1,716
2	0.2	135.5	67.1	1,410
3	2.6	77.0	124.8	1,619
4	9.0	113.5	211.2	1,655
5	14.2	48.5	211.4	1,006
6	17.3	76.0	146.6	1,260
7	20.8	258.5	124.6	1,380
8	21.9	118.0	142.1	1,660
9	18.4	109.0	172.4	1,502
前月比 %	-3.5度C	-9.0ml	30.3h	-9.5
前年同月比%	-1.2度C	70.5ml	-23.2h	15.2
資料出所	青森地方気象台			外務省

県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2006 (H18)			
1~3月	-20.8	-29.7	-15.9
4~6月	-30.0	-33.9	-4.9
7~9月	-30.6	-17.0	-24.6
10~12月	-22.0	-20.0	-5.6
2007 (H19)			
1~3月	-20.3	-10.5	-3.2
4~6月	-25.4	-9.3	-25.5
7~9月	-21.9	2.0	-20.7
10~12月	-25.4	-33.3	-25.9
2008 (H20)			
1~3月	-29.1	-39.6	-30.5
4~6月	-35.0	-52.1	-35.2
7~9月	-44.6	-40.4	-14.3
10~12月	-50.9	-72.7	-29.4
2009 (H21)			
1~3月	-32.1	-54.2	-39.1
4~6月	-52.6	-32.6	-43.4
7~9月	-35.2	-11.4	-52.5
10~12月	-31.5	-38.6	-47.5
資料出所	青森銀行BSI('09.10~12月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2008(H20) 8	304,330	184,501	239,849	408	153	363	166	109	209
9	304,110	184,393	239,785	707	267	541	111	103	104
10	303,962	184,303	239,795	571	241	447	142	226	99
11	304,016	184,274	239,796	487	184	440	101	75	114
12	303,834	184,226	239,792	356	129	218	143	123	95
2008(H21) 1	303,662	184,145	239,813	380	182	274	43	40	72
2	303,523	184,081	239,660	511	189	373	44	67	58
3	303,277	183,931	239,608	940	429	593	206	33	123
4	302,141	182,719	238,742	436	170	393	140	48	117
5	302,503	183,298	238,729	435	197	383	104	64	126
6	302,437	183,206	238,654	603	243	452	126	84	120
7	302,324	183,072	238,596	742	316	587	112	66	111
8	302,385	183,129	238,510	439	225	370	100	44	83
9	302,305	183,134	238,421	689	327	563	82	45	153
10	302,143	183,041	238,380						
前月比 %	-0.0	-0.1	-0.0	56.9	45.3	52.2	-18.0	2.3	84.3
前年同月比%	-0.6	-0.7	-0.6	-2.5	22.5	4.1	-26.1	-56.3	47.1
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森市	弘前市	八戸市	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2008(H20) 8	0.29	0.44	0.51	5	230	1	154	1	1,100
9	0.32	0.51	0.58	3	2,484	2	100	0	0
10	0.28	0.49	0.56	4	2,610	0	0	0	0
11	0.25	0.39	0.48	4	4,010	2	230	0	0
12	0.19	0.25	0.36	4	7,574	0	0	1	110
2008(H21) 1	0.16	0.26	0.27	4	815	0	0	2	19,796
2	0.19	0.19	0.27	2	170	1	30	0	0
3	0.22	0.23	0.28	0	0	2	1,300	0	0
4	0.19	0.20	0.24	0	0	0	0	3	174
5	0.19	0.18	0.24	6	1,960	0	0	0	0
6	0.21	0.22	0.26	7	556	1	14	2	2,030
7	0.22	0.20	0.26	4	662	0	0	0	0
8	0.23	0.25	0.32	5	780	2	260	3	1,250
9	0.24	0.32	0.35	3	250	1	210	1	146
10				2	170	2	1,030	1	1,800
前月比 %	ポイント	ポイント	ポイント	-33.3	-32.0	100.0	390.5	0.0	1,132.9
前年同月比%	ポイント	ポイント	ポイント	-50.0	-93.5	-	-	-	-
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

有効求人倍率は原数値による